# 意思決定システムの歴史とか

## 意思決定支援システム（Decision Support System: DSS）

DSSとは，コンピュータを利用した情報システムの一種．その名の通り企業や組織の意思決定について支援するシステムまたは仕組み．現象が複雑で，事前には結果を推定しにくい意思決定を支援する目的で使われる．適切に設計されたDSSは対話型ソフトウェアをベースとしたシステムであり，生の数値データ・文章・個人的知識・ビジネスモデルから有益な情報を集めるのを助け，意思決定者が問題を特定し意思決定するのを支援する．

DSSの歴史： Power, D. J. (2007) ABrief History of Decision Support <http://dssresources.com/history/dsshistory.html>.

意思決定支援という概念は2つの研究から生まれた（次の書籍参照）: Keen, P. G. W. (1978), Decision support systems: an organizational perspective, Reading, Mass.: Addison-Wesley Pub. Co., ISBN 0-201-03667-3.

# 参考文献になりそうなもの

## 多目的離散化最適化問題のための対話型意思決定アルゴリズム

## 改良型遺伝的アルゴリズムによるファジィ多目的組み合わせ最適化

“離散化”は無視して，意思決定は，複数の変数を入力として複数の目的関数を同時に求める多目的最適化問題ととらえることができる．多くの場合，複数の目的関数は互いにトレードオフの関係である．このような問題を扱うには，意思決定現場における意思決定者に対して，複数の実現可能解（パレート解という）を提示し，最終的な解は意思決定者の価値観にゆだねる．上記の論文では，異なるアプローチで多目的最適化問題に対する